

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教 育 学 部
第一類（学校教育系） 初等教育教員養成コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

本コースのアドミッション・ポリシーに従い、小論文の論述に以下の点を求める。

- (1) 小学校教員としての指導力習得に必要な幅広い基礎学力、小学校の諸教科等の学習を支援できる知識・技能を持つこと
- (2) 知識を活用して課題を解決しようとする力を持つこと
- (3) 自らの視野を広げ、柔軟性をもって物事に取り組む姿勢を持つこと

具体的には、今日的な教育課題についての基礎的な知識を有し、その知識等に基づいて、偏りのない視野から、論理的な文章を組み立て、自分の意見を伝えることができるか評価する。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
A〇入試 (総合評価方式)
教育学部
第一類 (学校教育系) 特別支援教育教員養成コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

問1 下線部①の言葉は、作者のどのような思い(考え)が含まれていると考えるか、「障害」および「個性」に対する、あなた自身の考えを示し、作者の考えと対比させながら、700字以上、800字以内で記述せよ。その際、あなたが考える「障害」の定義を含めて述べよ。

出題の意図

「障害」と「個性」を対比させた障害観は、よく用いられるものである。本文は、自身が発病する前と後の立場の違いが、「障害は個性」といった考えに与えた影響について論じた内容である。発病後、それまで感じていた「障害は個性」という言葉の捉え方がより深まった心情の変化を記述している。本問いは、このような作者の心情の変化を読み取った上で、作者の障害観と対比させながら障害に対する基本的な事項、問題解決能力、論理的な表現力を問うている。

令和2年度 広島大学光り輝き入試

AO入試 (総合評価方式)

教育学部

第一類 (学校教育系) 特別支援教育教員養成コース

小論文問題 解答例又は出題の意図等

問2 下線部②について、作者の言う「心のバリアフリー」とはどのような内容を指しているのか
作者の文章を引用しながらまとめ、「心のバリアフリー」を現在の社会の中で実現するために
私たちに求められることについて、あなたの考えを、1,000字以上1,200字以内で記述せよ。
その際、作者の考えに「賛成」、「反対」、「どちらでもない」、のいずれの立場であるかを明記
し、論理的に述べよ。

出題の意図

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこととされている（「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画（2017年2月ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議決定）」より）。問題文には「人が人と向き合うために必要な心の在り方」といった「コミュニケーションをとること」や、「赤や青ばかりが一番と思っていると、景色は単調なものとなるだろう。」といった、「支え合う」あるいは「ダイバーシティ」に通ずる考え方が述べられている。本問いは、これらの「心のバリアフリー」に関する受験者の問題意識を確かめた上で、それを社会で実現するための方略を問うことで課題発見および課題解決力を問うている。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試 (総合評価方式)
教育学部
第二類 (科学文化教育系) 自然系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

【出題意図】

【問1】

理科の内容や観察・実験の方法についての理解、情報を整理しまとめる能力、情報を伝える相手を意識し、わかりやすく表現する能力を問う。

【問2】

- (1) 作用・反作用の法則に関する基礎的知識と、それを論理的に説明する能力を問う。
- (2) マグネシウムと酸素との化合を題材に、定比例の法則や化学反応における量的関係を見いだし、科学的に論述できる能力を問う。
- (3) 植物の分類に関する基本的な知識を問うとともに、生物の共通性と多様性について花の構造を例に論理的に説明する力を問う。
- (4) 季節風を題材に、季節によって異なる気圧配置とそれが生じる原因について科学的に論述できる能力を問う。

【問3】

直線電流のまわりになされる磁場に関する基本的理解、2種類の磁場の合成とその測定法に関する基本的理解、さらにそれらを論理的に説明できる能力を問う。

【問4】

分子量測定を素材として、化学の諸法則や反応の量的関係を、物質の状態や性質とともに論理的に説明できるかを問う。

【問5】

日常生活に関連した生命現象についての興味・関心を問うとともに、その生命現象の科学的な側面を論理的に説明する力を問う。

【問6】

三角州の形成を題材に、河川の働きとしての堆積作用について科学的に論述できる能力を問う。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試 (総合評価方式)
教育学部
第二類 (科学文化教育系) 数理系コース
筆記試験問題 解答例又は出題の意図等

出題意図

[I] 各問題は独立しており、それぞれ次のような意図である。

- (1) 二つの有理数の和と商が有理数となることを示す問題である。
- (2) 極形式で与えられた複素数の商に関する問題であるが、加法定理を利用することが期待される。
- (3) ド・モアブルの定理を利用して、複素数の4乗根を求める問題である。
- (4) 与えられた三角形の面積公式を示す問題である。
- (5) 中線定理を、内積を利用して示す問題である。

[II] 数列の理解を問う問題である。(1)では与えられた漸化式から数列の一般項を求める力を問う。(2)では数列の和を計算する力を問う。(3)では極限值を求める力を問う。(4)では不等式を満たす自然数を求める力を問う。

[III] 微分法、積分法の理解を問う。(1)では与えられた不等式を示す力を問う。(2)での利用を想定している。(2)では積分で定義された関数が定数より小さくなることを示す力を問う。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教 育 学 部
第二類（科学文化教育系） 社会系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

出題の意図

経年・年代別の変化などに注目し、グラフから、民主政治に対する日本人の態度の傾向について適切な読み取りができるかを問うた。社会系教科が民主的な国家・社会の担い手を育成することをめざしているという特性を踏まえた上で、今後の教科のあり方について、根拠に基づいて具体的に立論できるかを問うた。